

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report

# 3

2019 No.774

## 3 はじめの言葉

### 4 意味の解らない

#### ソリューションビジネス

田原文夫

ソリューションベンダーなる言葉が跋扈する。当事者でない他人に解決策など解るはずがない。たとえ解ったとしても解決などできるわけがない。テレビドラマでの「必殺仕事人でもあるまいに」である。ソリューションベンダーなど、これほどのほら吹きはない。ところが情報処理の世界、正確にはコンピュータ業界にはまかり通るキャッチコピーだというから、改めて驚いて見せてやろうと思ったりする。驚いたふりをしながら、業者の言うことを聞いていると何のことはない相も変わらず、コンピュータシステムがソリューションだと繰り返しているに過ぎない。昨今の流行り言葉で言うと IT であり AI ということになる。早い話が、解決策のツールになるかもしれないコンピュータシステムを買ってくれと、繰り返しているだけである。コンピュータ神話いまだ死なずということだ。情報処理は最終的には人間がするものである。コンピュータはあくまでも道具でしかない。

## 1 1 情報社会を考える その 102

### 情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

#### 姿消す COBOL

所業無常と言えればそれまでだが、独立法人情報処理推進機構（IPA）は、基本情報技術者試験における出題を見直し、本年度から COBOL を試験対象から 2019 年秋季試験をもって出題を廃止し、代わりとして 2020 年春季試験から Python 言語を追加、技術者のプログラミング能力・理数能力を判定することとなった。IPA の国家資格・試験部では、これを国家試験である「基本情報技術者試験」について AI 人材育成のニーズ等を踏まえ、出題の見直しを実施し、具体的には、プログラム言語の見直しをしたと説明している。

そして、その具体策が「COBOL の廃止、Python の追加」であり、プログラミング能力、理数能力等に関する出題の強化だというわけである。

## 1 2 デジタルガバメント DG14

### デジタル政府の展開 番外編

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018 年 1 月 16 日に日本政府もデジタルガバメント実行計画を e ガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28 年 1 月 16 日から 2023 年 3 月 31 日までの計画である。2018 年上半年期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府は ICT を使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりやすく、何時でも何処からで

も誰でも使えることを目的としている。

## 1 8 連載 アーキテクチャ論 (95)

### ArchiMate 演習教材の開発

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

ArchiMateは、エンタープライズアーキテクチャを図を用いてモデル化するための言語である[1]。本稿では、筆者らが開発したArchiMate演習教材について説明する。まず、演習対象であるArchiMateの言語要素の範囲について説明する。次いで、演習対象とした事例と具体的な演習の構成例について述べる。さらに、演習の解答例についても紹介する。

## 2 7 連載 情報システム考

### 企業情報システムの変遷と行方 第18回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

## 3 2 IT新時代とパラダイム・シフト

### 第112回 囲碁・麻雀・ゲームが

#### オリンピックを目指す時代

根本忠明

昔はスポーツ競技と無関係と見られていた囲碁・麻雀・ゲーム（コンピュータゲーム）といった競技が、スポーツ競技として見なされようとしている。これらの競技は、マインドスポーツやeスポーツとして分類され、国内大会ならびに世界大会も開催されている。さらに、オリンピック種目への採用を目指す動きも活発化している。スポーツにパラダイムシフトが求められる時代が来ている。今回は、この動向を報告する。

## 3 5 続インテリジェンスへのいざない 109

### データ革命時代に

#### 沖縄投票が見せてくれたもの

今井 武

第4次産業革命は、データ革命だと言われ始めている。GAFに代表されるような大量の消費者データを集め、素早く消費者に取り入って競争優位を成し遂げる事業展開が、その中核にあると考えていいだろう。ここでのデータは、果たして、

- ① 実際に何かを買った結果のデータ、
  - ② インターネットのサイトで何かを検索／探した結果のデータ、
- というような単純に見える事実データが主である場合が多い。

## 3 7 新連載 「まるで漫画」シリーズ

すぎやまちヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

## CR選書

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,800円＋税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 EHCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門からできない
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正則化の問題点とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEHCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構成
第三章 CodeレベルによるOLAPプログラムの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析集積の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

## CR選書

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 331頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動ピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動ピクセス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マテリアル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM KLEZの蔓延と国家記録
第二章 aism情報セキュリティ研究会の発足	第十二章 メールが網かGLI
第三章 認知される電子署名方式の基本論	第十三章 任意ネットワークのための認証サーバーの構築
第四章 署名を拒められたCodeRedワーム	第十四章 第五のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 1万バグの虫と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 WWW(インターネット)の脅威	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2002年度の事業活動	第十八章 ネット・セキュリティ作戦にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の脅威と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

## CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム監査	第八章 変革対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 212頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 分散式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

## CR選書

**『いざ！というときの得広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)  
A5版 280頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広域ビジネスの展開条件	■ 売玉も企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも決めるも広報が窓口
■ 文字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のタイミング	＜付＞記事とうまく付き合う十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー  
—IBM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)  
A5版 269頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本銀行法の思い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米岡チーム編組の軌跡
第三章 新システムへの働き	第十三章 新たな陣っ入
第四章 WCIに向けて	第十四章 米岡チーム編組と新たな戦場
第五章 F&C、IBM競争	第十五章 国際フル編組と1/4リフトアップ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本銀行法と本業継続日誌
第八章 米岡チーム立ち上げの証し	第十八章 既存システムとのデータ交換の課題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 探検その一 直前、直前の苦しみ
第十章 米岡チーム、勝となる三人数	第二十章 探検その二 安定稼働と北米センター稼働

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)